

1 講演会日時 会場 平成23年8月20日(土) 13:00-15:00 トヨタホームショールーム 地下鉄・久屋大通 1B 出入場者は 120名を越え盛況でした。

(挨拶・講演)

- ① NPO法人ワイルドライフ 菊池 徹 理事長(挨拶) 山本真美子(司会)
- ② タンザニア大使館商業文化交流担当/中部地区名誉大使 清水邦子 氏(講演)「東アフリカの現状」
- ③ 名古屋柳城短期大学 宮嶋英一 教授 サバナクラブ会員 写真家 (講演)「ケニアの野生動物の今」
- ④ (株)トヨタホーム営業統括部マーケティング室営業施設グループ長 長谷部隆喜 氏

2 菊池 徹 理事長 (挨拶)

名古屋の展示および講演会のために関東から 4人駆けつけた。韓国人写真家 B.T.キム氏の写真を 51枚(第1会場)11枚(第2会場)に展示して 10日間名古屋の皆様にご覧いただくことが出来た。

多くの方々に野生動物の表情を伝えたい。野生動物の生存の環境について考えて貰いたい。

3 清水 邦子 中部地区名誉大使 (講演)「東アフリカの現状」

(3-1)タンザニアの紹介(DVD 英語版)

右に示すような場所の 自然名所旧跡が紹介された。

- ①タンザニア連合共和国 英連邦加盟国。アフリカ有数の大自然に恵まれる。公用語 スワヒリ語。19世紀 ザンジバル・スルタン国。ついでドイツ領東アフリカ。ついで英委任統治領。第2次世界大戦後独立したタンガニーカとザンジバルが1964年連合して現在に至る。ニエレレ初代大統領のもと社会主義国家建設。ついで自由経済に転換。多民族だが平和 スワヒリ語教育の普及で相互理解が進んだため。



- ②ダルエスサラーム首都 ②' ドドマ(立法府)
- ③セレンゲティ国立公園 野生動物
- ④ナトロン湖 フラミンゴ生息地
- ⑤キリマンジャロ山 アフリカ最高峰
- ⑥ザンジバル 貿易都市 世界遺産
- ⑦ンゴロンゴロ保全地域 世界遺産 この地域の一部に 人類史上最も古い化石人骨と石器の出たオールドヴァイ渓谷がある。
- ⑧ヴィクトリア湖 白ナイル河の源流
- ⑨タンガニーカ湖 肺魚が生息。肺魚は模型を紹介。

(3-2)タンザニアの紹介 ①面積 94.5万km² 人口約4,400万人 GDP 1,351US\$/人。産業 農業 鉱業 観光業 キクウェテ大統領。通貨 タンザニア・シリング(TZS)。

識字率 77%(アフリカでは高い。)2010年子供の識字率 100% を達成。

②日本との関係 2,005年万博以来日本でも知られるようになった。1,967年 日本大使館開設。京セラ 稲盛名誉会長 20小学校に太陽光発電システム 1ユニット(600W)(+使用電化設備)を寄贈。

(3-3)文化 主に動物や植物などの自然が描かれる。色彩豊かで楽しいポップアート「ティンガティンガ」女性達が身につける華やかな「カンガ」布

(3-4)フランク・マカネ氏(タンザニア人) の紹介

4 宮嶋 英一 名古屋柳城短期大学教授 サバナクラブ会員 写真家 (講演)「ケニアの野生動物の今」

①最近ケニアから戻ってきた。サバナ(Savanna;サバンナとも)とは乾季と雨季のある熱帯に分布する、疎林と灌木を交えた熱帯長草草原地帯である。アフリカではバオバブ樹などが見られる。草は殆どがイネ科の言わば雑草。非常に長い乾季と2回の短い雨季がある。

②サバナの野生動物の紹介 写真を投影して「ヌー」草を求めてケニア タンザニア間を往き来する。「トムソンガゼル」は移動しない。「オリックス」角が細長い。「バッファロー」。「シロサイ」絶滅危惧種。「カバ」陸上の草を食べる。「キリン」高木の葉を食べる。「ゾウ」象牙で密猟の為激減。日本人や中国人の印鑑や装飾品「ライオン」食物連鎖の頂点に立つ。10頭生まれて生き残れるのは4頭程度。「チータ」動物で最速 120km/hr 母親 1頭で子供を育てる。100頭生まれて生き残れるのは4-5頭。絶滅危惧種指定。

③草原はきれいだ。多くの動物が死んで行くが その体は ライオン ジャッカルー ハゲワシ …最後は微生物により掃除される。カワセミなど水鳥は水がきれいであれば生きられない。ケニア・タンザニアには 約1,500種の水鳥が生息している(日本は 500種)。

④「海上(かいしよ)の森」の大鷹「愛地球博」会場予定地に大鷹の営巣が発見され会場は長久手に変更になり営巣地は守られた。大型の鳥類が生きられるということはこの下に食物連鎖を形成する多くの野生動物がいるということを示す。ニュージーランドのモアは絶滅した。ケニア ナクル湖のフラミンゴや ペリカンは減少しつつある。

⑤野生動物の生存環境の悪化 キリマンジャロ山の雪や氷河が減少してきている。野生動物のための自然保護区が人間の生活のために面積を減らされている。地域の砂漠化の進行。一方異常気象で大雨が降り草原が一時的に湖になるような現象も起こっている。数年前 干ばつでシマウマが減少しライオンが飢えた。このときケニア政府はライオンの餌用として南アフリカ等からシマウマ ヌーを輸入した。バオバブ樹 伐採が進み絶滅が心配。

⑥生物の多様性に関する条約(国際条約) 1. 生物多様性の保全 2. 生物多様性の構成要素の持続可能な利用 3. 遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分 COP10(2010年10月11日-29日 名古屋)では野生動物を守ることが改めて確認された。

エバン(カナダ 12歳(当時))の伝説の演説「子供には夢がある。密林や草原に入って動物と触れあった。私たちのこのような事が出来なくなる。自然を壊すことを止めさせて欲しい。(If you don't know how to fix it, please stop breaking it now) (生物多様性条約 第1回 COP-1 1992年 ブラジルのリオデジャネイロ)

5 長谷部隆喜 氏 (株)トヨタホーム営業統括部マーケティング室営業施設グループ長 (トヨタホーム 館長)

- ①ご来場のお礼。
- ②アンケート 記入のお願い。
- ③「東アフリカの現状」および「ケニアの野生動物の今」写真展 オプショナルツアーのお知らせ。
- ④トヨタホーム ショールームのご紹介。

6 まとめ

8月11日(水)から21日(日)までの11日間で延べ1万2千人を超える参観者があった。20日(土)の特別講演も120名を超えた。啓蒙事業として、「美しい自然は、そこに住む野生動物がいるから美しい、広がりを見せるのだ」ということが少し、浸透したようだ。自然と動物は、互いに関連し、調和しあっている。例えば、植物を食べた象が、糞と共に種子を広範囲に蒔くことで、森林が生まれる。その動物達が今や絶滅の危機にあること、その原因を人間というたった一つの種が作っているという事実を、考えなければならぬ。東日本大震災の被災者義援金を募集したところ20,570円が集まった。

